

令和3年6月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
6月	4日	油流出	新光町2丁目 地内	車両	エンジンオイル 推定5リットル	農業用水路	<p>車両事故により、破損したタンクからエンジンオイルが水路に流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、路面の油膜を除去すると共に、水路に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>

令和3年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	2日	未処理 排水流出	寺町地内	事業場	未処理排水 不明	農業用水路	<p>事業場の排水処理施設の不具合により、油分を多量に含んだ未処理排水が、農業用水路に流れているとの通報を受け、市と原因者及び水路管理者が現地確認を行い、原因者が吸着マットの設置及び水路の清掃を実施した。</p> <p>また、事業者は維持管理手順の見直しを含めた今後の再発防止策を検討し実施した。</p> <p>その後、新たな流出がないことから、対応を終了した。</p>

令和3年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	14日	油流出	藤新田地内	不明	不明	水路	裏の水路から灯油の臭いがするとの通報を受け、関係機関が現地調査を行ったが、確認できなかった。健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。

令和3年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	10日	塗料流出	高土町1丁目 地内	不法投棄	油性塗料 不明	一級河川青田川	<p>青田川に塗料が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施した。水門の水たたき部付近に赤色の油性塗料が投棄されており、周囲の水面に塗料の塊が溜まっていた。</p> <p>県と市が塗料を回収・処分し、新たな流出がなくなったことから、対応を終了した。</p>

令和3年12月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
12月	2日	油流出	南城町3丁目 地内	事業場	灯油 300~400リットル	地下水	地下式のタンクから灯油が漏れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、埋設配管の一部に漏洩箇所を確認した。 原因者は土壌から浸出する油膜をバキュームやポンプで回収し、拡散防止に努めるとともに、埋設管及び埋設管周囲の土壌の入れ替え等を実施した。水路等への流出はなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。
12月	8日	油流出	頸城区 松本地内	個人宅	灯油 200リットル	道路側溝	周辺が灯油臭いとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、個人宅でホームタンクからポリタンクへ移し替える際にその場を離れたため、ポリタンクが溢れ、灯油が流出したことが判明した。 関係機関が水路に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。 その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。

令和4年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	17日	油流出	大潟区 土底浜地内	個人宅	灯油 推定 150 リットル	道路側溝	<p>ホームタンクに車両が接触して、灯油が流出したとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、個人宅で自家用車を車庫に格納する際、誤って車庫内に設置されたホームタンクに接触し、破損したホームタンクのバルブ部付近の配管から灯油が漏洩し、敷地外に流出していることを確認した。</p> <p>関係機関が水路に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
1月	20日	油流出	本町1丁目地内	車両	軽油 約 2 リットル	一級河川 儀明川	<p>儀明川に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、除雪作業中に除雪機の燃料タンクが破損し、軽油が市道路面に漏洩し、道路側溝を經由後、儀明川に流出していることを確認した。関係機関が路面の油膜を除去するとともに路面に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
1月	25日	油流出	浦川原区 長走地内	事業場	灯油 150 リットル	道路側溝	<p>ホームタンクから灯油が漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施し、施設老朽化に伴う劣化により、破損したホームタンクの配管から灯油が漏洩していることが判明した。関係機関が敷地外道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>灯油は概ね敷地内に留まっており、新たな流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>

令和4年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	27日	油流出	寺町2丁目地内	不明	不明	道路側溝	道路側溝に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施したが、通報地点の上下流の道路側溝及び水路に油膜は確認できなかった。

令和4年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	10日	油流出	塩屋新田地内	車両	エンジンオイル 5リットル	都市下水路	<p>走行車両からエンジンオイルが漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施し、車両の整備不良により、走行車両のエンジンオイルが路面に漏洩し、道路側溝等を經由後、都市下水路に流出していることを確認した。関係機関が路面及び水路に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
2月	12日	油流出	寺地内	個人宅	灯油 推定 100 リットル	道路側溝	<p>ホームタンクから灯油が漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施した。</p> <p>除雪作業中に誤ってホームタンクに接触し、ホームタンクのバルブが開いたことに気づかず、灯油が漏洩していたことが分かった。関係機関が道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
2月	12日	油流出	国府3丁目地内	個人宅	灯油 推定 420 リットル	一級河川 国府川	<p>ホームタンクから灯油が漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施した。</p> <p>ホームタンクからポリタンクへ移し替える際にその場を離れたため、ポリタンクから溢れて灯油が流出した。関係機関が河川にオイルフェンス、道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後、新たな流出がなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>

令和4年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	14日	油流出	頸城区 望ヶ丘地内	個人宅	不明	道路側溝	<p>道路側溝に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施し、空き家の倉庫内にある缶から油らしき流体が浸出していることを確認した。関係機関が倉庫周り及び道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
2月	24日	油流出	藤塚地内	個人宅	灯油 約10リットル	道路側溝	<p>灯油が敷地外に流出したとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施した。個人宅の玄関に置かれた灯油ポリタンク（18リットル）に設置した給油ポンプが誤作動したため、ポリタンク内の灯油が外に漏洩したことが分かった。関係機関が道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後の流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
2月	26日	油流出	寺町2丁目地内	事業場	灯油 約420リットル	農業用水路	<p>周辺で灯油臭がするとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施した結果、事業場のホームタンクの埋設配管が除雪作業により破損し、灯油が漏洩していたことが分かった。関係機関が道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後の流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>

令和4年3月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
3月	6日	油流出	上野田地内	車両	エンジンオイル 推定 2.5 リットル	農業用水路	<p>市道に油膜が飛散しているとの通報を受け、関係機関が現地調査を実施した結果、縁石との接触によりタンクが破損した車両が走行したことにより、路面にエンジンオイルが飛散したことが分かった。関係機関が路面のエンジンオイルを除去するとともに、道路側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後の流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
3月	10日	油流出	昭和町1丁目地内	車両	エンジンオイル 推定 1.0 リットル	道路側溝	<p>車両事故により市道側溝に油膜が流れているとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施し、タンクの破損により、エンジンオイルが路面に漏洩し、側溝に流出していることが分かった。関係機関が路面に漏洩したオイルを除去するとともに側溝に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後の流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>
3月	22日	油流出	大字灰塚地内	車両	エンジンオイル 推定 30 リットル	一級河川沢山川	<p>上信越道の上越高田インター付近で、走行トラックからエンジンオイルが漏洩したとの通報を受け、関係機関が現地確認を実施した結果、施設内の調整池及び一級河川沢山川との合流地点に油膜を確認した。関係機関が路面に漏洩したオイルを除去するとともに施設内水路、調整池、河川との合流地点に吸着マットを設置し、拡散防止措置を講じた。</p> <p>その後の流出もなく、健康・環境被害は無いと判断されたことから、対応を終了した。</p>